

No.33 岩手県・奥州市（後継者インターンシップ）

地域力創造アドバイザー	大牧 圭吾氏（A462）
活用分野	事業承継等の支援、地域おこし協力隊の推進 若手人材・担い手育成
活用期間（頻度）	令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	# 伝統工芸 # 伝統的工芸品 # 商品開発 # インターンシップ # 担い手育成 # 販路開拓 # 後継者 # 職人 # 地場産業

【目的】

現在1名のみとなっている伝統工芸品である岩谷堂筆筒の彫金職人の技術の継承と持続的発展のため、後継者候補を選定し、奥州市の地域おこし協力隊としての活動を目指す。

【内容】

- 後継者受入れ事業者向け説明会の実施
- 全国のモノづくり系・美術系学校への説明、募集告知
- 参加者選定のための書類選考・オンライン面談の実施
- 岩谷堂筆筒彫金職人後継者インターンシップ（1泊2日）の開催
- 移住準備を含めた2回目のインターンシップ（1泊2日）の開催
- 移住・就業までの内定者フォローアップ

【成果（見込み）】

- 応募人数 43名
- 後継者インターンシップ参加者 6名
- 後継者1名の内定及び内定承諾
⇒令和8年度から奥州市地域おこし協力隊員として彫金技術の習得と伝統産業の魅力発信に取り組む予定



No.58 栃木県・日光市（伝統工芸産業支援）

地域力創造アドバイザー	大牧 圭吾氏（A462）
活用分野	伝統的な産業の後継者発掘・育成
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（月4回程度）
キーワード	# 伝統工芸 # 伝統工芸の技術継承 # 伝統工芸品の持続的発展 # 後継者育成 # 地域の担い手

【目的】

栃木県伝統工芸品である日光彫を取り巻く環境は、生活様式の変化や大量生産品の普及等により大きく変容し、需要の減少、職人の高齢化、後継者の不足などさまざまな課題を抱えている。

そのため、専門的な知見を有する者から、アドバイスを受け、事業を展開することで、日光彫の技術の継承及び持続的な発展を図る。

【内容】

伝統工芸品である日光彫の価値向上、認知拡大を目的とした商品開発インターンシップを実施。全国から伝統工芸産業に関心をもつ6名の参加者と日光彫事業者で商品開発に向けたインターンシップを2泊3日で実施。その後、商品案のブラッシュアップを行い、新商品の開発を実施。

【成果（見込み）】

令和8年3月に日光市内商業施設にて1週間程度のポップアップイベントを開催し、テストマーケティングを実施予定。メディア関係に対するプレスリリースを事前に実施し幅広い周知を行うことで、集客及び認知拡大等を図り商品購入に繋がる戦略を図る。



▲日光彫の特徴を把握するため、日光彫事業者の指導のもと仕事体験をしている様子。

No.76 新潟県加茂市（桐箆笥後継者育成支援）

地域力創造アドバイザー	大牧 圭吾氏（A462）
活用分野	移住・定住促進
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（年5回）
キーワード	#地域の担い手 #事業承継 #地域おこし協力隊 #移住・定住 #地場産業 #若手活躍

【目的】

桐箆笥職人の後継者を発掘し、育成につなげることで技術の伝承を図る。

【内容】

- 2泊3日の仕事体験インターンシップツアーの開催
- インターンシップツアーのプログラム作成、進行管理、応募者管理・選定、インターンシップ終了後のフォローアップ等（1泊2日の内定者フォロー現地ツアー含む）

【成果（見込み）】

- 主に全国の美術工芸を専攻する学生等へインターンシップツアー開催をPR。
- 令和7年度は、全国から18名の応募があり、その中からツアー参加者4名を選定。
- ツアー参加者の中から桐箆笥職人の後継者候補を、地域おこし協力隊として採用予定。



インターンシップツアーにおける仕事体験の様子



No.172 熊本県熊本市（商品開発インターンシップの実施）

地域力創造アドバイザー	大牧 圭吾氏（A462）
活用分野	地場産品発掘・販路開拓、若手人材・担い手育成
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月7, 8回程度）
キーワード	#伝統工芸 #伝統的工芸品 #商品開発 #インターンシップ #担い手育成 #販路開拓 #仕事体験 #工房見学 #肥後象嵌

【目的】

全国から若者や大学生を募り、職人のもとでの工房体験を通して商品の提案を行ってもらいインターンシップ及びその後の商品販売事業を実施し、消費者や時代のニーズに合った新しい視点の商品の開発、各種広報媒体を活かした販路開拓を行う。

【内容】

- ・令和6年度
 - 商品開発インターンシップ（2泊3日・6名参加）と商品販売支援の実施
- ・令和7年度
 - 商品開発インターンシップ（2泊3日・6名参加）と商品販売支援の実施
 - デザインアイデア会議（6名参加）の実施

【成果（見込み）】

国指定の伝統的工芸品である肥後象がん等の商品開発・販促に関するアドバイザーを活用

- ・令和6年度
 - 肥後象がんの職人1名が参加し、「ネイルリング」の新商品を開発
 - ⇒ 阪急梅田本店「春の九州物産大会」にて販売を実施
- ・令和7年度
 - 肥後象がんの職人1名が参加し、「節句兜」と「サングラスホルダー」の新商品を開発
 - ⇒ 関東方面百貨店にて販売予定
 - 七宝焼の職人1名が参加し、学生等がデザインアイデアを提案
 - ⇒ デザインアイデアの中から作品を製作販売予定



令和6年度に商品開発したネイルリング



令和7年度インターンシップの様子 175

【R6】No.29 奈良県・奈良市（奈良伝統工芸産地留学事業）

地域力創造アドバイザー	大牧 圭吾氏（A462）
活用分野	地域人材の情報発信力の向上と、地場産業の後継者の発掘・育成
活用期間（頻度）	令和6年度（月2～3回程度）
キーワード	# 伝統工芸 # 産地留学 # 一刀彫 # 奈良人形 # 後継者育成 # インターンシップ # 進路選択 # 仕事体験 # 工房見学

【目的】

本市の伝統工芸は、ライフスタイルの変化による需要の減少などに伴い、後継者不足が深刻化しており、工芸作家を志す者や伝統工芸に関心を持つ学生等の発掘を通じて、後継者の確保が求められている。

本事業は、全国から後継候補者を募り、産地留学を実施し、工房主や若手工芸作家と交流する機会を提供することで、平成18年から実施している奈良伝統工芸後継者育成研修の円滑化や工房主の受入体制の整備を目的とする。

【内容】

- （工房主向け）合同説明会の実施
- 受入先工房主の決定
- 参加者の募集・選定
- 産地留学の実施



（工房見学の様子）



（仕事体験の様子）

【成果（見込み）】

- 市内工房主等に対し、奈良伝統工芸産地留学事業の合同説明会を実施し、現地オンラインを含め7名の工房主が参加。後継候補者の専攻分野に偏りが出ないように、受入先を『奈良一刀彫』に絞り、産地留学を実施。
- 後継候補者となり得る人材を全国から募集を行ったところ、47名の応募があり、書類選考及びオンライン面談により、6名を決定。
- 奈良一刀彫作家2名の工房見学や、座談会、仕事体験等を中心に2泊3日の産地留学を実施。作家を目指す後継候補者と後継者を求める産地のマッチングを行った。